

Oecophylla smaragdina

(Fabricius, 1775)

ツムギアリ

脚の長い樹上性のアリで、自分たちの幼虫が出す糸で生きた葉を縫い合わせて巣を作り、飼育は上級者向けの難題です。



写真：Lek Khauv, CC BY 4.0

ひと目でわかる情報



巣の温度
24-30 °C
巣の中



巣の湿度
65-85 %
巣の中



休眠
不要



結婚飛行
まだデータがありません



働きアリ
5-8 mm
大型働きアリは最大10 mm



女王
20-25 mm
女王は1匹または複数



コロニーの規模
働きアリ2,000匹規模
成長速度：速い



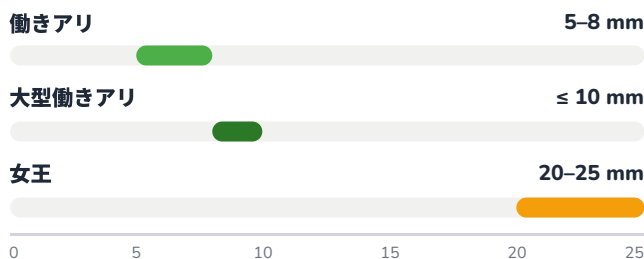
脱走リスク
高い
脱走の名人です。密閉したアウトワールドと、しっかりした脱走防止の対策を用意しましょう

1年をひと目で



この種の実産地での月です。正確な日は天気で決まり、室内で飼育しているコロニーは別のリズムになることがあります。

同じ縮尺での大きさ



飼育の早見表

食べ物

砂糖

昆虫

おすすめの巣

1. 自然再現型のセットアップ
2. 試験管セットアップ

この評価の理由

- ✓ 完全閉鎖型：最初の働きアリが現れるまで、女王に餌は不要です
- ✓ 休眠の管理が不要です
- ⚠ 本格的な脱走の名人で、脱走を完全に防げるセットアップが必要です
- ⚠ 一年中、一定の暖かさが必要です

飼育者からのメモ

ヒント

大きくてしなやかな葉をもつ、生きた健康な宿主植物を中心にセットアップを組みましょう。ベンジャミン（Ficus benjamina）、コーヒノキ、柑橘類などが向いています。ある飼育者がマネーツリーの葉に作らせた巣は茶色くなり、数週間ごとに作り直さなければならず、小さなコロニーのストレスになりました。一方、コーヒノキとハイビスカスの上の巣は数か月もちました。

注意

アリを入れる前に、植物を洗い、土を入れ替えて、しばらく置いておきましょう。園芸店の植物にはしばしば殺虫剤が使われており、飼育者は残留物のせいで働きアリを失っています。ある例では、洗って植え替え、数か月置いてから、活動中のコロニーに加えた新しい植物でも被害が出ました。